

文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「資料:写真帳(橋梁整備)」年未詳 (歴史的公文書19226)

第19号目次

特集「あなたも読める！文書館資料」-----	2
歴史的公文書紹介「高速道路北陸自動車道（調査・計画）」---	4
寄贈資料紹介-----	5
活動報告-----	6
お知らせ-----	8

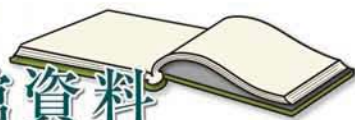
第19号

平成24年3月

福井県文書館

◆◆◆ 特集 ◆◆◆

あなたも読める！文書館資料



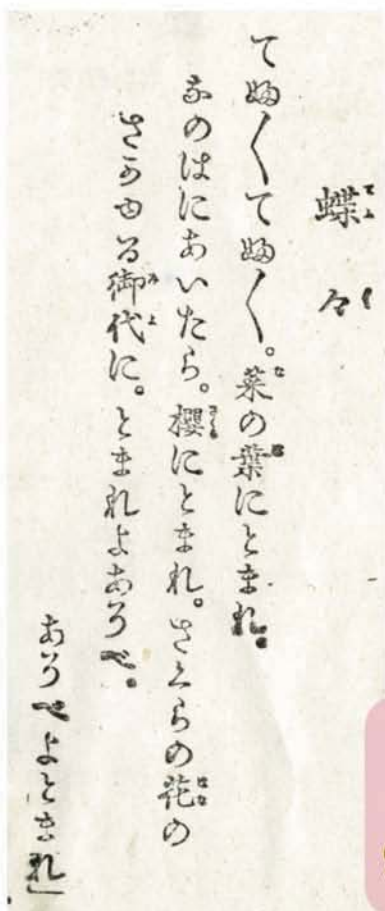
今回は、江戸期から大正期の文書館資料を、穴埋め問題を交えて紹介します。ヒントをたよりに、資料を解読する楽しさを味わってみませんか。

入門編



変体がなや基本的なくずし・言い回しなどに挑戦してみましょう。

1. 変体がなに挑戦



てぬくてぬく。菜の葉にとまれ。
 あのはにあいたら。桜にとまれ。さくらの花の
 さ□□□御代に。とまれよあ□□べ。
 あ□□べよとまれ

蝶 てぶ
 々 たく

ヒント
 ①よく知られている唱歌ですが、現在の歌詞とは一部異なります。
 ②左のイラスト

▲【文部省検定済新編教育唱歌集第1集】 1898年(明治31)
 勝見宗左衛門家文書(当館蔵) B0037-00719

2. 基本的なくずし・言い回しに挑戦

(3) (2) (1)

□□□候
 □□□候
 □□□候

ヒント
 ①読み方
 (1)ごさそうろう
 (2)しんじょうつかまつりそうろう
 (3)めでたくぞんじたてまつりそうろう
 ②(3)の左側についているレ点は返って読みます。

▲【大成用文章】 1848年(嘉永元)
 勝見宗左衛門家文書(当館蔵) B0037-00712

3. 大正時代の入試問題に挑戦

一、左の片假名にあたる漢字のみを書け。

(1)名所キウセキ多し。
 (2)國家にクシラウあり。
 (3)船體にシウゼンを加ふ。

二、次のヨミを書け。

(1)獻立
 (2)湯氣
 (3)長しへに

ヒント
 ①旧字
 假||仮、國||国、體||体、獻||献、氣||气
 ②歴史的かな遣い
 キウ||キユウ
 ラウ||ロウ
 シウ||シユウ



◀【中学程度入学試験問題并答案集】より抜粋 1919年(大正8)
 坪田仁兵衛家文書(当館寄託) C0005-01880

◆◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆◆

高速道路北陸自動車道（調査・計画）

1966年（昭和41）7月1日、国は新潟市を起点に滋賀県米原町を終点とする北陸自動車道の予定路線を決定し、日本道路公団に対し施工命令を出し、建設に着手することになりました。

福井県は、高速道路建設のため北陸自動車道建設促進対策本部を設置し、(1)北陸自動車道建設に伴う調査、測量および用地取得の協力、(2)沿線市町村および利害関係者と公団との連絡・調整に取り組むことになりました。

これまで北陸自動車道建設の県の窓口として担当していた開発局自動車係を、高速道路主幹以下3係に増やし、さらに、用地交渉等を行う高速道路福井用地事務所を新設するなど大幅な体制強化を行いました。

今回紹介する歴史的公文書には、当時の土木部計画課が開発局に対し、「高速道路建設に伴う都市計画上の問題および地域計画上の問題点について」協議した内容や、沿線市町村が希望する関連公共事業等

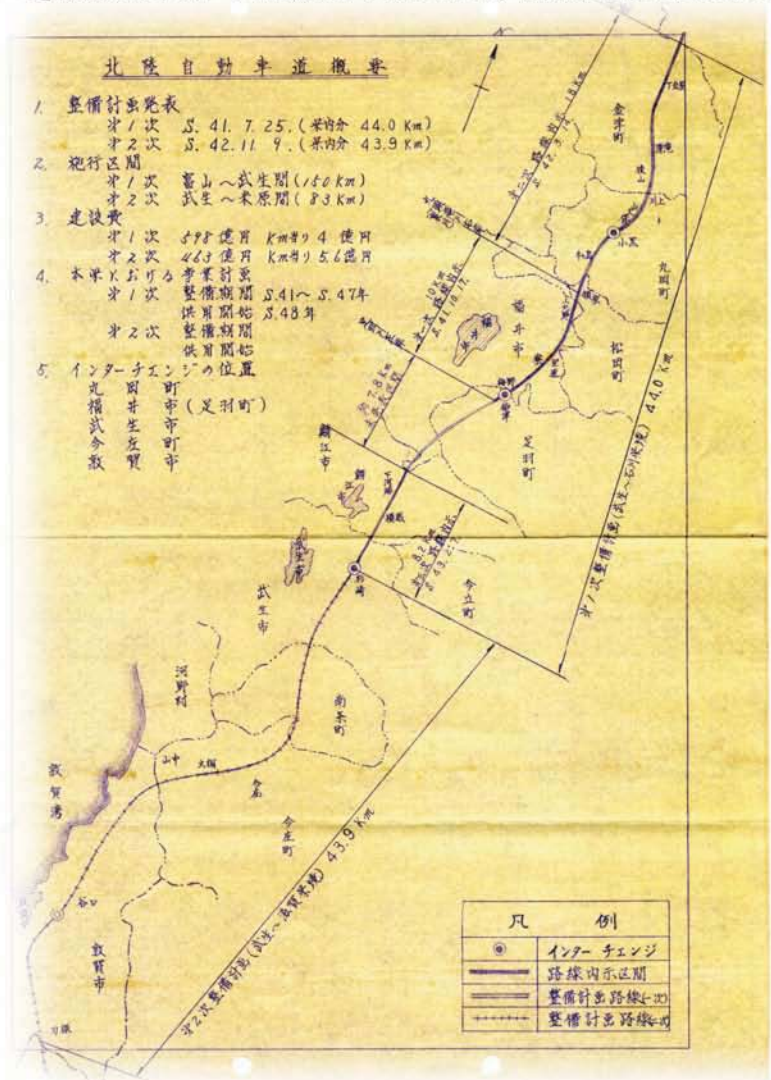
を取りまとめたもの、開発局が1967年8月に作成した「北陸自動車道沿線開発計画調書」（幹線道路計画、都市計画街路計画、^{ほじょう}圃場整備事業計画、林道事業計画、河川改修計画及び砂防指定の一覧等）があります。

ここに掲載した図面には、福井県内を石川県境から武生までの第1次整備計画（44.0km）と武生から滋賀県境までの第2次整備計画（43.9km）に分け、まず、第1次区間を1966年から72年までの間に整備し、73年に供用開始をすることが記載されています。

北陸自動車道は、1975年9月には福井ICまで、76年11月には武生ICまで、77年12月には敦賀ICまで開通しました。敦賀IC—米原JCT間は80年4月7日に開通して名神高速道路につながり、全国の高速道路網に組み込まれていくことになりました。



▲「高速道路北陸自動車道（調査・計画）」
33 土木部計画課（1966～68年度）



▲「北陸自動車道福井県第3次路線内示について」33-2（1968年）

◆◆◆ 寄贈資料紹介 ◆◆◆

複製本ができたものから公開しています。

●加藤竹雄家文書(A0052)

二日市村は日野川との合流点に近い九頭竜川右岸にあり、府中本多家が直接支配する村(府中領)でした。加藤家は江戸後期にはこの府中領の大庄屋格の待遇をうけていました。

寄贈資料は1,500点をこえ、対岸の江上村を結ぶ渡船関係、当家が仲裁にはいった春近用水や福井城下の魚仲買と浜方との争論関係、幕末から明治にわたる理右衛門の日記、その子源太郎の河合村長時代の資料、さらに孫の竹雄の県立農林学校(農林高等学校)校長時代の資料など、多彩な資料が含まれています。



▲加藤理右衛門の日記
A0052-01415 ~ 01423

●小川利三郎家文書(E0123)

小川家は利兵衛・利三郎を名乗り、武生町蓬莱で海産物店を営業していました。1885年(明治15)には魚商総代、90年には仲買人総代を務めました。寄贈資料は雲丹やかに、わかめなどの海産物の缶詰ラベルなど21点で、中には皇室御買上・名誉大賞金牌受賞と記されたものもあります。また、御肴券(商品券)もあります。



▲雲丹のラベル
E0123-00001 ~ 00003

表紙写真「資料：写真帳(橋梁整備)」年末詳 歴史的公文書19226

九頭竜橋は、福井市の九頭竜川下流部の一般県道福井丸岡線(旧国道8号線)上にある橋です。1948年(昭和23)の福井震災により損壊したため、50年に架け替えられました。

この写真帳には、震災時の九頭竜橋のようすや、その後の橋の建設工事の風景などが99枚にわたって収められています。表紙の写真は、建設途中の橋のようすです。



P2・3 あなたも読める!文書館資料 の答え

入門編 1 蝶々

てふてふ てふてふ。菜の葉にとまれ。なのはにあいたら。桜にとまれ。

さくらの花の さかゆる御代に。とまれよあそべ。あそべよとまれ

2 (1)御座候 (2)進上仕候 (3)目出度奉存候

3 一 (1)旧跡 (2)勲労 (3)修繕 二 (1)こんだて (2)ゆげ (3)とこしえに

中級編 伊勢大輔 いにしへの ならの みやこの 八重桜 けふ九重に 匂ひぬる哉

上級編 同日 出福早瀬へ行キ土産式匆のかまほこ壺枚、同所ニ而夕飯支度いたし夫方

正玄五三郎方へ行土産線香福寿香壺ハ、但輪違ニ而求メ曙覧へ遣候

◆◆◆活動報告◆◆◆

今年度の主な取組み

◆「震災と復興」パネル展示と出前授業

今年度、文書館では1948年(昭和23)の福井震災をテーマに写真展を開催しました。さらに、県内の若い世代にもこの震災を知ってもらい、命の尊さ、助け合いの大切さを伝えようと、県内の小・中・高校で文書館の震災写真を活用したパネル展示と出前授業を行いました。

福井市内の小学校では、福井震災・東日本大震災のようすについて、クイズや写真をまじえて説明しました。

また、福井市在住で震災を経験した方を招き、震災当時の生々しい体験談を話していただきました。



授業を受けた児童の感想

福井震災の時も、県外の人たちが助けしてくれたことを知って、わたしも東北の人の役にたちたいと強く思いました。



震源地近くの坂井市内の中学校では、生徒の身近な地域の惨状を写した写真を紹介しました。



越前市内の高校では、震災直後の緊迫感が伝わる資料を紹介しました。

◆大学連携「文書館学生サポータープログラム」

昨年度スタートした福井大学教育地域科学部との連携企画では、原本資料にふれる実習を大幅に増やしたほか、古文書入門・資料の探し方講座を行いました。

さらに、ふくい震災について、古文書や新聞を調べ、その成果をポスターセッション形式で報告しました。



講座・講演会

◆古文書初級講座

10月8日(土)、15日(土)、22日(土) (3回シリーズ)

講師：文書館職員

松平春嶽の側近、側向頭取そばむきとうどりが記録した「御用日記」を教材とした講座を行いました。春に実施した入門講座から少しステップアップした内容となりました。



◆県史講座①

「写真でみるスキー百年

ーオーストリアから大野まで」

11月26日(土)

講師：びわこ成蹊スポーツ大学教授 新井 博 氏

スキーがオーストリアから日本に伝わって100年。新潟県高田をへて奥越地域にいたるまで、スキーの歩みを写真をまじえてふりかえりました。



◆県史講座②

「若狭の水産業 今と昔

ー西津漁村の歴史を中心にー」

12月17日(土)

講師：福井県立若狭東高等学校長 藪本 金一 氏

江戸時代から戦後までの西津漁港(小浜市)に焦点をあて、若狭地方の水産業をふりかえりました。

嶺南地方で初めての県史講座の開催となりました。



◆講演会

「記憶を記録にーオーラル・ヒストリーの射程ー」

2月4日(土)

講師：東京大学社会科学研究所教授 中村 尚史 氏

インタビューなど、話し手と聞き手の相互のやりとりを通じて、過去の記憶を引き出し、文章として記録に残すことが、近年注目されているオーラル・ヒストリーです。今回は川田達男氏(セーレン)の事例などを紹介しました。



講座や講演会、学校行事や地域での活動など、ぜひ文書館をご利用ください。

講座・展示のご案内

◆文書館月替展示

- ◎平成24年4・5月「収蔵資料紹介
—プロマイドとラベル—」
- ◎平成24年6月 「資料を未来へ」(仮)
- ◎平成24年7・8月「新出 福井の新聞」(仮)

◆古文書入門講座

- ◎平成24年6月16日(土) 13:30～15:30
6月23日(土) 13:30～15:30
6月30日(土) 13:30～15:30

定員40名(要申込) 無料

講師:文書館職員

会場:文書館研修室

※問合わせ・申込みは文書館まで。

◆県史講座

- ◎平成24年5月中旬
「だるま屋少女歌劇のかがやき
—全国の少女歌劇のなかで—」(仮)

講師:倉橋 滋樹 氏

(宝塚市まいたに人権文化センター所長)

会場:図書館多目的ホール

※申込み不要です。

平成24年度の文書等点検期間

4月9日(月)～13日(金)は文書等点検のため、休館します。

研修室をご利用ください。

文書館研修室(定員40名)を会議や打合せなどに利用できます。詳細などお気軽に文書館にお問い合わせください。



ご利用案内

- 開館時間
午前9時から午後5時まで
- 休館日
月曜日(休日は除く)
休日の翌日(土、日、休日は除く)
文書等点検期間(年間10日以内)
年末年始(12月28日～1月4日)
清掃整理日(12月以外の第4木曜日、休日の場合は翌日)

■ フレンドリーバス(無料)をご利用ください。



編集後記

たより第19号をお届けします。今号では「あなたも読める!文書館資料」と題し、文書館資料を読む楽しさを特集しました。今後も文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。

なお、業務の見直しにともない、次年度より、たよりの発行は年1回となります。秋ごろの発行を予定しています。

文書館だより Fukui Prefectural Archives 第19号

2012年(平成24)3月21日発行

編集・発行/福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp

